

2015年6月29日

企業会計基準委員会と欧州財務報告諮問グループの代表者による二者間会合の開催

企業会計基準委員会
欧州財務報告諮問グループ

企業会計基準委員会（ASBJ）及び欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）（以下「両者」という。）の代表者は、2015年6月22日と23日に、ブリュッセル（ベルギー）で会合を開催いたしました。この会合は、両者が二者間で行っているもので、今回で第二回目となります。

今回の会合において、両者は各々の活動について最近の状況を確認するとともに、協力のあり方について意見交換を行いました。また、技術的な分野について、両者は、概念フレームワーク、開示に関する取組み、保険契約及び収益認識を含め、国際会計基準審議会（IASB）で進められている主要なプロジェクトに関するそれぞれの見解について議論しました。さらに、両者は、リサーチ活動について、両者がイタリアの会計基準設定主体（OIC）と協働しているのれんの減損及び償却の論点を含め、どのような形で今後より効果的に協力できるかについても議論しました。

両者は、次回の会合について、来年、東京で開催することに同意しました。

小野行雄 ASBJ 委員長は次のように述べています。

「私は、委員長就任以来、この二者間会合に初めて参加できたことを大変喜ばしく思う。IASBによるプロジェクトの様々な論点について、日本と欧州は共通した見解を有しており、今回の議論は我々にとって大変有意義であった。IFRSを任意適用する日本企業が急増していることを踏まえ、我々は、今後EFRAGと一層の協働を行っていきたい。」

フランソワ・フローレス EFRAG TEG 議長は次のように述べています。

「EFRAGは、ASBJとの関係を高い価値があるものと評価している。我々は、財務報告及びIFRSの適用について多くの見解を共有している。EFRAGは、この公式の二者間会合が、高品質な財務報告に貢献するために両者がともに取り組んでいる作業に役立つものと考えている。また、我々は、IFRSのあり方について理解を深めるため、地域的な境界を越えて取組みを行うことが重要と考えている。」

企業会計基準委員会 (ASBJ) について

ASBJ は、2001 年 7 月に民間部門の機関として設立された。ASBJ が開発した会計基準は、金融庁により一般に公正妥当と認められた企業会計の基準として認められることとなる。ASBJ は、企業が活動している環境を適切に反映した会計基準及び適用指針を開発している。ASBJ は、海外の会計基準設定主体とコミュニケーションを取り、グローバルな会計基準の開発に貢献している。

欧州財務報告諮問グループ (EFRAG) について

EFRAG は、主に以下の目的のために設立された。

- IFRS の開発を支援する議論において欧州の関係者の十分な参加を確保するとともに、IASB の基準設定プロセスを通じて欧州の見解を示すこと
- プロアクティブな会計関連の活動を促進、調整及び実行することにより、発生する財務報告上の論点の分析及び議論に欧州の関係者を関与させること
- 欧州におけるすべての上場企業の連結財務諸表における使用に関するエンドースメントを行うため、IFRS の受入可能性について欧州委員会に対する助言を行うこと